



令和6年度予算

# 『 新未来創造・育都実現予算 』

共生社会実現のまち  
渋川市



共生社会推進シンボルマーク



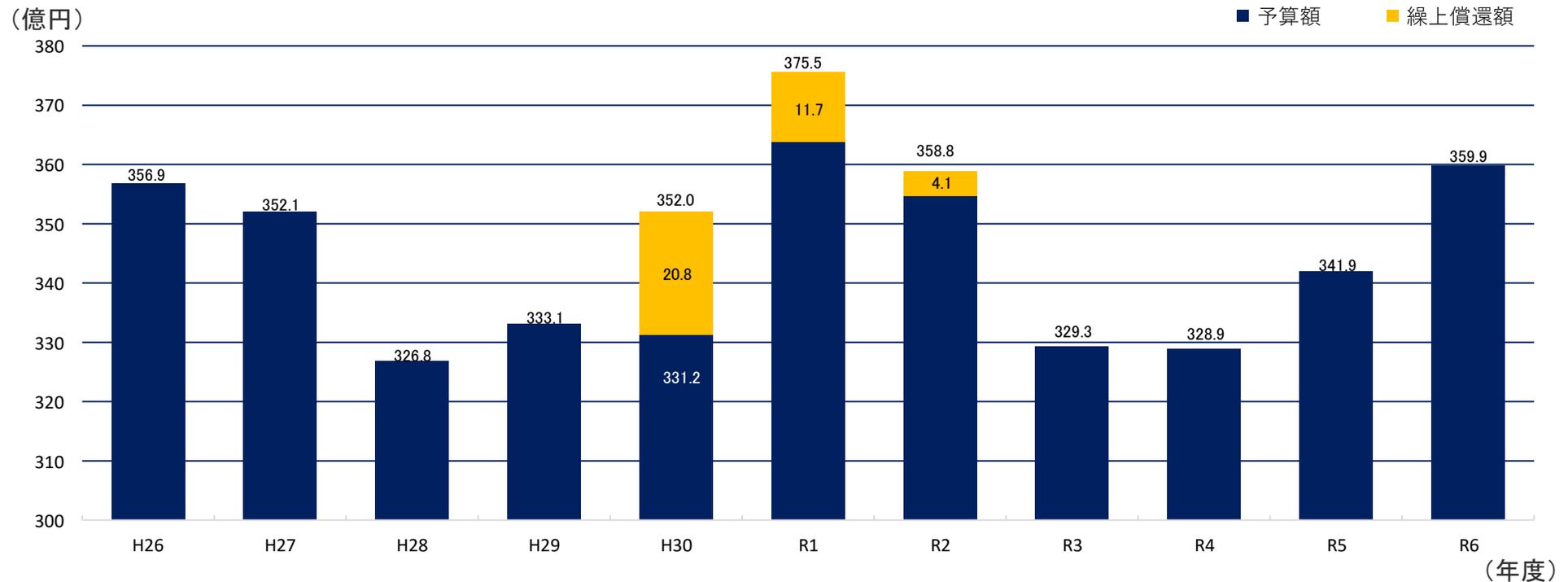


# 令和6年度一般会計予算規模

## 総額 359億9,300万円

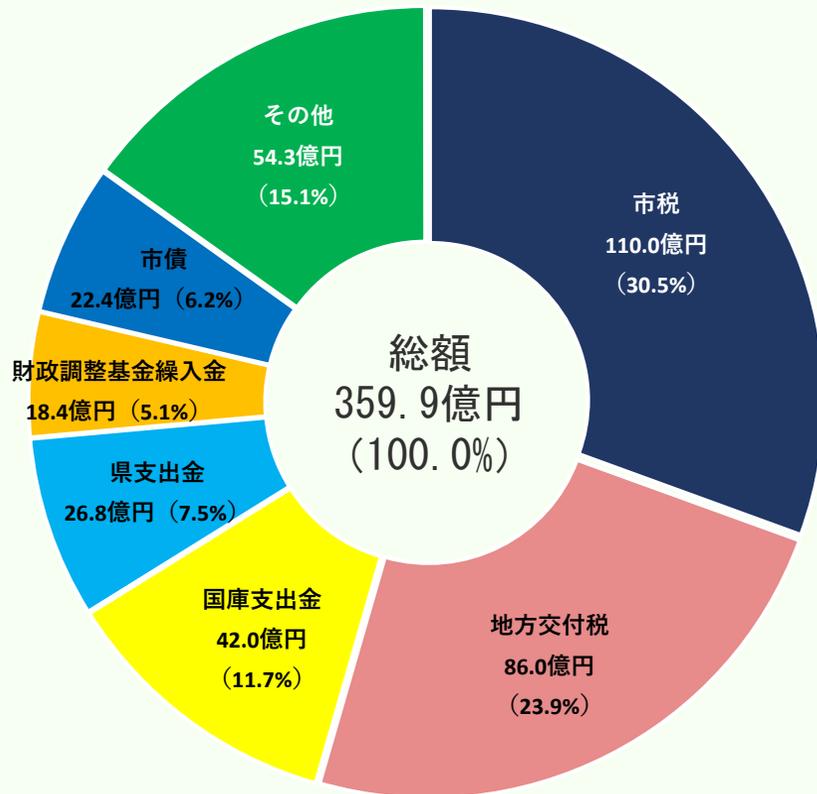
(前年度予算比 +5.2%)

- ・ 古巻公民館等の普通建設事業費や社会保障給付費の増加等により、前年度に比べて18億円の増加
- ・ 合併後、2番目の予算規模



# 歳入の状況

- ・ 国の総合経済対策による定額減税等の影響により、市税は前年度より約3.5%減少（▲4億円）
- ・ 地方財政計画を踏まえ、地方交付税は前年度より約2.4%増加（+2億円）

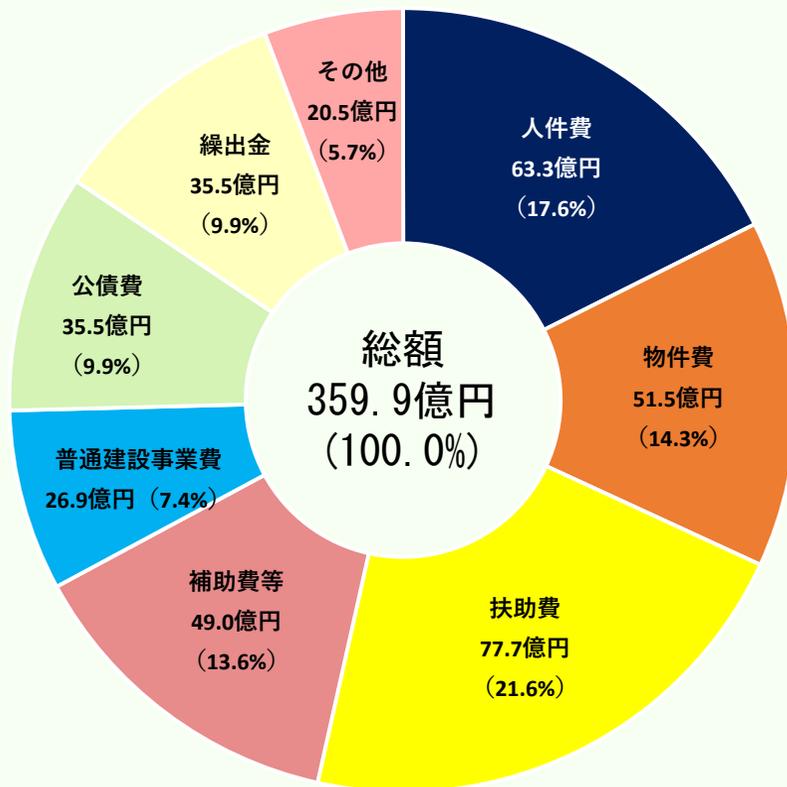


(単位：億円)

区分	R6年度	R5年度	対前年度比較	
			増減額	増減比率
市税	110.0	114.0	▲ 4.0	▲ 3.5%
うち市民税	39.4	42.9	▲ 3.5	▲ 8.2%
個人市民税	31.7	35.1	▲ 3.4	▲ 9.7%
法人市民税	7.7	7.8	▲ 0.1	▲ 1.3%
うち固定資産税	55.3	56.2	▲ 0.9	▲ 1.6%
地方交付税	86.0	84.0	2.0	+2.4%
国庫支出金	42.0	40.3	1.7	+4.2%
県支出金	26.8	23.9	2.9	+12.1%
財政調整基金繰入金	18.4	20.5	▲ 2.1	▲ 10.2%
市債	22.4	13.2	9.2	+69.7%
臨時財政対策債	1.0	1.0	0.0	+0.0%
合併特例事業債	16.5	9.2	7.3	+79.4%
その他の通常債	4.9	3.0	1.9	+63.3%
その他	54.3	46.0	8.3	+18.0%
合計	359.9	341.9	18.0	+5.2%

# 歳出の状況

- ・ 社会保障給付費の増加等により扶助費が増加
- ・ 大型建設事業等の実施により普通建設事業費が増加



(単位：億円)

区分	R6年度	R5年度	対前年度比較	
			増減額	増減比率
人件費	63.3	62.0	1.3	+2.1%
物件費	51.5	48.6	2.9	+6.0%
扶助費	77.7	71.3	6.4	+9.0%
補助費等	49.0	50.3	▲ 1.3	▲ 2.6%
普通建設事業費	26.9	15.9	11.0	+69.2%
単独事業費	17.5	9.1	8.4	+92.3%
補助事業費	9.4	6.8	2.6	+38.2%
公債費	35.5	34.6	0.9	+2.6%
繰出金	35.5	36.2	▲ 0.7	▲ 1.9%
その他	20.5	23.0	▲ 2.5	▲ 10.9%
合計	359.9	341.9	18.0	+5.2%

# 基本方針 『新未来創造・育都実現予算』

## ❀ 予算を構成する4本の柱 ❀

### 1 誰もが自分らしく輝ける共生社会の実現

- (1) 女性活躍や男女共同参画を推進
- (2) 住む人も訪れる人も誰もが安心できる社会の実現
- (3) 市民の安心・安全を守る取組
- (4) 子どもたちの成長を見守り誰もが輝けるまちづくり

### 2 健康で快適な市民の暮らしを実現

- (1) 子育て・教育環境の充実
- (2) 健康寿命延伸に向けた取組
- (3) 暮らす人に優しいまちづくり
- (4) 住み続けることに幸せを感じられるまちづくり

### 3 産業振興や情報発信で人を呼び込むまちを実現

- (1) 地域ブランドの発信
- (2) JR渋谷駅を核としたにぎわいの創出
- (3) 観光資源を活用した観光プロモーションの推進
- (4) 魅力ある産業創出に向けた掘り起こし
- (5) 選んでもらえるまちの実現

### 4 効率的な行財政運営で持続可能な市民サービスを実現

- (1) 未来戦略の推進
- (2) コンパクトシティの推進
- (3) DXの推進
- (4) SDGsのゴールを目指すまちづくり
- (5) 持続可能な地域づくりを応援
- (6) 市債残高の圧縮と財政調整基金の確保
- (7) 政策実現に向けた推進体制の強化

# 1 誰もが自分らしく輝ける共生社会の実現

## (1) 女性活躍や男女共同参画を推進

男女問わず、互いに尊重し合い、豊かな人生を送ることができるよう「渋川市男女共同参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」を制定し、誰もが活躍できる社会の実現に取り組みます。

新規

男女共同参画社会実現事業・  
3,620千円（政策戦略課）

「渋川市男女共同参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の理念を実現するため、市民意識調査のほか、各種ワークショップや研修を実施



新規

こども計画策定事業・  
6,436千円（こども政策課）

国の「こども大綱」に対応し、子どもに関する施策を総合的に推進し、子どもの健やかな成長に資するための「こども計画」の策定に着手



新規

こども誰でも通園事業・  
7,478千円（こども支援課）

保護者の就労の有無に関わらず保育の希望に柔軟に対応する「こども誰でも通園制度」の創設を見据え、公立幼稚園において試行的な取組を実施



ひとり親家庭支援事業・  
19,503千円（こども支援課）

経済的自立のための就業に向けた資格取得等への補助を行うほか、専任の「母子・父子自立支援員」を配置し、ひとり親家庭の自立を支援



# 1 誰もが自分らしく輝ける共生社会の実現

## (2) 住む人も訪れる人も誰もが安心できる社会の実現

市民が日々、安心して暮らすことができることはもちろん、観光客の人でも、誰でも安心して訪れることのできるまちの実現に取り組みます。

### 拡充

インターネット上の誹謗中傷等の  
被害者支援事業・514千円（危機管理室）

インターネット上の誹謗中傷等の被害者支援として弁護士による無料相談等を実施するほか、加害者にならないための啓発として、リーフレットの作成や講演会を実施



犯罪被害者等支援事業・  
1,000千円（危機管理室）

犯罪被害者等の経済的負担の軽減のため支援金を支給するほか日常生活の安定を図るための家事代行や一時避難等にかかる経費を補助



### 新規

観光施設心のバリアフリー推進事業・  
330千円（観光課）

誰もが利用しやすく  
楽しめる観光地づくりのため  
宿泊施設における  
「心のバリアフリー認定制度」  
取得に向けたセミナーを開催



### 新規

アフターコロナ観光未来戦略推進事業・  
15,437千円（観光課）

観光基本計画に基づく取組として  
地域おこし協力隊によるインバウンド対応の  
強化などを実施し  
誰もが安心して  
訪れることのできる  
観光地づくりを推進



# 1 誰もが自分らしく輝ける共生社会の実現

## (3) 市民の安心・安全を守る取組

日常生活はもちろん、万が一の災害の場合でも、安心・安全に生活を送ることができるよう、道路などのインフラや住環境の整備を推進します。

### 拡充

耐震改修促進事業・  
1,758千円（建築住宅課）

木造住宅の耐震改修工事や耐震シェルター設置のほか道路に面した危険ブロック塀の除却にかかる費用を補助



災害に強い道路整備事業・  
41,764千円（土木管理課）

万が一の災害の場合の道路交通を確保するため、身近な生活道路の拡幅整備工事を実施



交通安全施設整備事業・  
34,150千円（土木維持課）

子どもや高齢者、歩行者や運転者も誰にとっても安全な交通を確保するため、区画線、反射鏡、転落防止柵道路照明灯等の交通安全施設の整備を実施



空家等対策推進事業・  
5,300千円（市民協働推進課）

使われていない空き家を調査し適正な管理を促すとともに放置空き家とならないよう指導や助言を実施



# 1 誰もが自分らしく輝ける共生社会の実現

## (4) 子どもたちの成長を見守り誰もが輝けるまちづくり

未来を担う子どもたちの成長を地域ぐるみで見守るとともに、成長し高齢になっても生きがいをもって輝き続けることができる、やさしさにあふれたまちづくりを推進します。

### 新規

こども家庭センター運営事業・  
13,540千円（こども支援課）

子育てに対する支援体制整備として  
児童福祉と母子保健の連携を強化し  
相談体制の充実を図るため  
また、ヤングケアラーの支援を図るため  
新たに「こども家庭センター」を設置

### 新規

ひきこもり居場所づくり事業・  
2,000千円（地域包括ケア課）

ひきこもり状態にある人の  
コミュニケーション能力の向上や  
社会参加へ向けた準備のための  
居場所と就労体験やボランティアの機会を  
提供し、社会的自立を支援

### 拡充

難聴児補聴器購入支援事業・  
209千円（地域包括ケア課）

軽度や中度の難聴児の日常生活の  
利便性向上を図るため  
補聴器購入費用の一部を補助するほか  
新たに補聴器の修理費も補助メニューに  
追加し支援を強化



### 新規

不登校対策ウォームアップ事業・  
8,343千円（学校教育課）

不登校児童生徒へのきめ細かい対応を行う  
ウォームアップティーチャーを配置するほか  
登校はできるが教室に入れない児童生徒の居  
場所を確保し個別に支援  
をするため、小学校と中学校  
それぞれ1校に  
校内教育支援センターを試行的に設置



## 2 健康で快適な市民の暮らしを実現

### (1) 子育て・教育環境の充実

より良い親子関係を築くきっかけづくりを支援することや経済的負担を軽減することなどを通じて子育てを応援するとともに、教育環境の一層の充実に取り組みます。

新規

こどもの進学応援事業・  
7,309千円（こども支援課）

経済不安を抱えるひとり親家庭等の子ども（高校3年生、中学3年生）を対象に受験料や模擬試験の費用について本市独自に上乘せを行った上で支援



新規

ほめ育推進事業・  
120千円（こども政策課）

子どもの自己肯定感を高め  
良好な親子関係を構築するため  
「ほめて育てるコミュニケーション  
トレーニング」を活用した取組を実施



拡充

小中学校適正配置推進事業・  
459千円（教育総務課）

小中学校の適正配置について  
市民の意見を広く聴取するための  
広聴会を開催することなどにより  
多角的に検討するための  
取組を実施



新規

子育て世帯支援事業・  
26,745千円（保険年金課）

子育て世帯の負担軽減を図るため  
国民健康保険税の18歳までの  
被保険者にかかる均等割相当額を  
助成



（国民健康保険特別会計で実施）

## 2 健康で快適な市民の暮らしを実現

### (2) 健康寿命延伸に向けた取組

がんをはじめとする疾病の早期発見、早期治療のための健診の受診率向上に努めるとともに、日常的に体を動かすことを推奨し、健康寿命の延伸に向けた取組を実施します。

#### 拡充

がん対策事業・  
85,611千円（健康増進課）

がんの早期発見、早期治療につなげるため  
各種がん検診の継続的な実施に加え  
新たに胃がん検診の初回対象年齢となる  
40歳の人を対象に  
自己負担額が無料となるクーポンを発行

#### 拡充

わかば健康診査事業・  
2,960千円（健康増進課）

若年層の疾病の早期発見・早期治療につながる  
「わかば健診」の受診率向上を図るため  
市公式LINEによる健診予約を開始



#### 拡充

ラジオ体操普及推進事業・  
605千円（スポーツ課）

誰でも気軽に取り組めるラジオ体操を通じて  
市民の健康増進を図るため  
現在4か所で実施している  
ラジオ体操会の会場を  
5か所に拡大



渋川ウォーキングチャレンジ事業・  
14,832千円（健康増進課・保険年金課）

楽しみながら運動習慣をつけるためのきっかけづくりとして、ウォーキングを中心とした健康づくりを促進する事業を実施し、参加者に歩数や健康行動に応じた渋Payポイントを付与

## 2 健康で快適な市民の暮らしを実現

### (3) 暮らす人に優しいまちづくり

高齢者の外出や日常生活に対する支援や、障害者が安心して暮らすことができる施策をより充実させることで本市に暮らす全ての人にやさしいまちづくりを進めます。

拡充

高齢者外出支援事業・  
45,749千円（交通政策課）

高齢者の移動支援のためのタクシー及びバスの利用料金の一部助成を継続するとともに更なる利便性の向上のため令和9年度の完全移行を目指し交通系ICカードを活用した割引サービスを導入



新規

高齢者補聴器購入費助成事業・  
1,950千円（高齢者安心課）

聴力の低下により日常生活に支障を来している  
65歳以上の高齢者に対して補聴器の購入費用の一部を助成



バス交通活性化推進事業・  
40,020千円（交通政策課）

古くなった路線バスの車両更新にかかる費用を補助することにより地域公共交通の維持・継続を図り高齢者や障害者の交通の足を確保



拡充

手話普及推進事業・  
6,566千円（地域包括ケア課）

聴覚障害者の日常生活及び社会生活における意思疎通支援のため、手話通訳者及び要約筆記者を派遣するとともに、手話通訳者を1名増員し、市役所本庁舎窓口に配置

## 2 健康で快適な市民の暮らしを実現

### (4) 住み続けることに幸せを感じられるまちづくり

しぶかわ電子地域通貨（渋P a y）の仕組みを活用した支え合いや、定住者に対する経済的支援などの取組を通じ、誰もが幸せで、住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。

**新規**

渋P a y 1%応援金活用魅力ある  
学校づくり事業・6,900千円（学校教育課）

渋P a y 1%応援金を活用して  
児童生徒の意見も取り入れながら  
それぞれの小中学校ごとの  
特色を生かした  
魅力ある学校づくり  
のための備品等を整備



**新規**

県外通学学生応援事業・  
5,400千円（市民協働推進課）

本市から県外の大学等へ公共交通機関を  
利用して通学する学生に  
定期券購入費用の一部を助成



渋P a y 1%応援金活用学校図書充実事業・  
2,000千円（学校教育課）

渋P a y 1%応援金を活用して  
子どもたちの読書環境の充実を図るため  
各小中学校の  
学校図書を整備



**拡充**

定住者生活支援事業・  
9,700千円（市民協働推進課）

婚姻やパートナーシップ宣誓を機に新居での  
生活を開始する世帯に対して助成金を交付す  
るとともに、空き家解体後の跡地に新築住宅  
を取得する40歳未満の人に対し取得費用の一  
部を助成

### 3 産業振興や情報発信で人を呼び込むまちを実現

#### (1) 地域ブランドの発信

市の強みである「温泉」や「自然環境」、「歴史」や「アート」といった観光資源のほか、特産品となる「農産物」や「食」などを様々な手法でPRすることで、本市の魅力を効果的、かつ、積極的に発信します。

新規

ふるさと渋川応援推進事業・  
222,031千円（広報室）

ふるさと応援寄附金の促進を図るとともに  
地域のブランド力向上のため  
市内企業と連携し  
体験型などの  
新たな返礼品を開拓



拡充

インフルエンサーの活用・  
500千円（広報室）

より多くの人に市の魅力が伝わるように、  
インフルエンサー等を  
活用しSNSで  
市の魅力を発信



（地域の魅力総合発信事業）

拡充

「しぶかわ推し」を認定・  
50千円（広報室）

- ・人に勧めたい市内のモノや事柄を募集し  
「しぶかわ推し」として登録し、  
SNS等で広く発信
- ・「しぶかわ推し」の  
認定マークを募集



（地域の魅力総合発信事業）

拡充

つながりひろがる あおぞら美術館・  
2,719千円（渋川市美術館）

3月にリニューアルオープンする  
いつでも誰でも芸術と  
つながることができる  
「新渋川市美術館」を  
芸術文化活動の拠点と  
して様々な情報を発信  
（企画展示実施事業）



### 3 産業振興や情報発信で人を呼び込むまちを実現

#### (2) JR 渋川駅を核としたにぎわいの創出

誰もが幸せを感じられる活力あるまちを目指し、伊香保温泉の玄関口である JR 渋川駅、渋川駅前広場、渋川駅前通り商店街などにおいて、魅力あるイベント等を実施することにより、まちなかににぎわいを創出します。

**新規**

渋川駅前広場利活用モデル創出事業・  
8,220千円（政策戦略課）

渋川駅前広場を活用したにぎわいの創出や地域の活性化を図るための事業提案と実施者を公募し、実施する事業者に補助金を交付



**拡充**

地域おこし協力隊を募集・  
6,763千円（政策戦略課）

渋川駅前広場で実施するイベント等を企画・運営する地域おこし協力隊2名を新たに募集

（まちづくり事業）



**拡充**

中心市街地を活性化・  
606千円（産業政策課）

高崎経済大学と連携し、若者目線によりコロナ禍後の中心市街地の現状を分析し活性化プランの推進に活用



（中心市街地活性化プラン推進事業）

**拡充**

商店街で歩行者天国・  
3,200千円（産業政策課）

商店街の活性化と魅力あるまちづくりを促進するため商店街において実施するイベント（歩行者天国年4回実施予定等）に補助

（商店街活性化イベント等促進事業）



### 3 産業振興や情報発信で人を呼び込むまちを実現

#### (3) 観光資源を活用した観光プロモーションの推進

第3次観光基本計画に基づき、本市ならではのコンテンツや魅力を活用した観光プロモーションを推進するとともに、周遊型や体験型といったニーズへの対応を進め、新たな層の誘客に取り組みます。

新規

アニメで観光客を誘客・  
2,210千円（観光課）

本市が舞台イメージとして描かれるアニメを活用し観光客の誘客につながるプロモーションを実施



（アフターコロナ観光未来戦略推進事業）

新規

夜間周遊型のアートイベントを実施・  
5,000千円（観光課）

県内の他の温泉地と連携して伊香保石段街などでデジタルアートや光の演出等による夜の周遊を促すアートイベントを実施



（アフターコロナ観光未来戦略推進事業）

拡充

創作こけしでまちおこし・  
1,487千円（生涯学習課）

30周年を迎える「全国創作こけし美術展in渋川」で創作こけしの魅力や芸術性をPR



（全国創作こけし美術展実施事業）

公共交通利用で渋Payゲット・  
31,020千円（観光課）

8つの鉄道駅がある本市の特性を生かし公共交通を利用して市内の宿泊施設に泊まった人に渋Payポイントを付与



（公共交通で行くしづかわエコ旅応援キャンペーン事業）

### 3 産業振興や情報発信で人を呼び込むまちを実現

#### (4) 魅力ある産業創出に向けた掘り起こし

まだまだ活用しきれていない本市の特性を再確認し、掘り起こしを行うことで、人を呼び込む魅力あるパワーコンテンツを創出し、活力ある産業振興を図ります。

##### 拡充

将来に向けた新たな産業誘致・  
(産業政策課)

新たな産業誘致を推進するため  
市内検討会議を実施し  
市内全域を視野に入れた  
土地の高度利用を検討



(企業誘致促進事業)

##### 拡充

空き店舗等を活用した創業を支援・  
5,500千円 (産業政策課)

産業の振興を図るため  
市内で創業する人に費用  
の一部を助成することで  
創業へのチャレンジを支援



(しぶかわ d e 創業チャレンジ支援事業)

##### 拡充

創作こけし職人を育成・  
6,972千円 (産業政策課)

職人の高齢化が進み後継者育成  
が課題となっている  
創作こけし産業について  
地域おこし協力隊を募集し  
若手職人の育成を支援



(地場産業後継者育成支援事業)

##### 拡充

農地の再生を促進・  
475千円 (農政課)

遊休農地の再生利用の補助要件を緩和し、  
解消に向けた取組を  
促進することで、  
農業振興の  
地盤づくりを推進



(遊休農地再生利用事業)

### 3 産業振興や情報発信で人を呼び込むまちを実現

#### (5) 選んでもらえるまちの実現

地域の活力あるまちづくりを進めていくために、就労や移住等に関する様々な施策を展開し、これらの磨き上げを行うことで、訪れてみたい、住んでみたいと思ってもらえるまちの実現を目指します。

新規

地方へ移住する就活学生を支援・  
96千円（市民協働推進課）

東京都内の大学等に在籍する学生の本市内企業への就職活動を促すため、県が実施する就職活動に要する交通費の補助に市独自で上乗せ加算し、交通費の全額相当分を支援

（地方移住・就活学生支援事業）



新規

保育人材をがっちり確保・  
19,083千円（こども支援課）

人材バンクの開設や保育支援者の配置支援等の対策を強化し、保育士の確保策を強化することで、子育てしながら安心して働くことができる環境を整備

（保育人材確保対策事業）



新規

学生の市内就職を応援・  
4,671千円（産業政策課）

市内の中小企業等に就職した高校生や大学生を応援するため、正規雇用された人に渋Payポイントを付与

（新規学卒者地元就職応援事業）



拡充

移住者を支援・  
38,454千円（市民協働推進課）

住宅を取得して本市に移住した人に助成金を交付  
※居住誘導区域や過疎地域への移住、被災地からの移住には特別加算あり

（移住促進地域活力創造事業）



## 4 効率的な行財政運営で持続可能な市民サービスを実現

### (1) 未来戦略の推進

シンポジウムやグループワークなどを通じて、市民の皆さんや様々な団体とともに市の未来を考え、持続可能なまちを創り上げていくための取組を推進します。

**新規**

「しぶかわ未来共創推進会議」を開催・  
1,762千円（政策戦略課）

まちづくり青年団体等との共催により  
「しぶかわ未来共創推進会議」を開催するとともに、市のまちづくりに資する講演会等を開催する団体等を支援

（未来戦略推進事業）



**新規**

「しぶかわ未来共創カフェ」を開催・  
222千円（政策戦略課）

市民や各種団体とのグループワークにより  
市の未来をともに考え創り上げる場として  
「しぶかわ未来共創カフェ」を開催

（未来戦略推進事業）



## 4 効率的な行財政運営で持続可能な市民サービスを実現

### (2) コンパクトシティの推進

市の玄関口であるＪＲ渋川駅や、南部開発の中核であるＪＲ八木原駅等の公共交通の結節拠点をはじめとした各地区の生活拠点同士をつないでいく、ネットワーク型のコンパクトシティを推進します。

ＪＲ渋川駅周辺整備事業・  
96,282千円（都市政策課）

ＪＲ渋川駅前広場の利便性を向上し、よりよい景観形成を図るため、メインシェルター設置工事を実施  
（令和7年度までの継続事業）

居住誘導区域定住促進事業・  
8,700千円（都市政策課）

渋川市立地適正化計画に定める居住誘導区域の定住促進を図るため、区域内に住宅を取得する市民に対して取得費用の一部を助成

ＪＲ八木原駅周辺整備事業・  
192,944千円（交通政策課）

ＪＲ八木原駅周辺の利便性及び安全性の向上を図るための自由通路や東西駅前広場の整備を実施  
（令和6年度は詳細設計等を実施）



## 4 効率的な行財政運営で持続可能な市民サービスを実現

### (3) DXの推進

「渋川市DX推進方針」に基づき行政手続のオンライン化などを推進するとともにデジタルデバイド（情報格差）の解消に努め、誰ひとり取り残さないDXの推進を図ります。

#### 拡充

DX推進事業・  
10,276千円（DX推進課）

スマートフォン体験教室やよろず相談会を引き続き実施するとともに、セグメント配信、オンライン申請、オンライン予約、通報機能の実装など、市公式LINEの機能を拡充し、「スマホ窓口」の開設により利便性を向上

#### 新規

建築確認業務へのDX導入・  
4,320千円（建築住宅課）

DX推進の一環として、過去の建築確認申請台帳のデータベース化と建築確認の電子申請化を行い、業務の効率化を図るとともに、申請者の利便性を向上

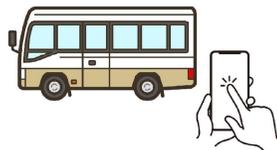
（建築指導事業等）

#### 新規

らくらく交通サービス（MaaS）  
推進事業・39,164千円（交通政策課）

DXを活用し、公共交通の利便性を向上させ将来的な公共交通の維持を図るため

マイナンバーカード情報を  
交通系ICカードに紐付ける  
GunMaaSを導入



しぶかわ電子地域通貨事業・  
140,967千円（DX推進課）

電子地域通貨を利用した地域課題の解決、市内経済の循環及び活性化、キャッシュレス決済の推進などを目的として「渋Pay」を運用し、決済額の1%を次世代への応援金として活用

## 4 効率的な行財政運営で持続可能な市民サービスを実現

### (4) SDGsのゴールを目指すまちづくり

持続可能な社会を目指すSDGsの理念を取り入れ、環境負荷の低減につながる取組を実施します。

#### 拡充

食品ロス削減推進事業・  
160千円（環境森林課）

事業者や生産者等と連携し、小中学校で食品ロス削減に関する講座等を実施するほか市公式LINEを活用し、食品ロス削減につながるアイデアコンテストを開催

#### 拡充

プラスチックごみの分別回収を開始・  
25,862千円（環境森林課）

2050カーボンニュートラルなど循環型社会を目指していく  
プラスチック資源循環法の趣旨を踏まえ  
プラスチックごみの分別回収を開始



(じん芥処理事業)

住宅エコリフォーム支援事業・  
12,000千円（建築住宅課）

脱炭素社会に向けて住宅の省エネルギーの実施にかかる費用の一部を補助



## 4 効率的な行財政運営で持続可能な市民サービスを実現

### (5) 持続可能な地域づくりを応援

地域コミュニティの維持や活性化のための中心的な担い手である自治会の活動について、業務の負担軽減に取り組むとともに活動の効率化を支援します。

#### 新規

#### 自治会の負担軽減

令和5年度に実施したアンケート調査や広聴会の結果を踏まえ、広報の発行頻度を月2回から1回に変更して自治会の負担を軽減するとともに、負担軽減についての検討を継続

#### 新規

#### 自治会からの問合せ対応の効率化

自治会からの問合せ等についてワンストップで効率的かつ迅速に対応できるよう市民協働推進課内に自治会支援のためのワンストップ窓口体制を構築

#### 拡充

#### 自治会活動支援の拡充①

負担軽減や担い手不足に対応するため新たな項目として、自治会事務のICT化にかかる加算を行政事務委託料に追加

#### 拡充

#### 自治会活動支援の拡充②

定期的な道路清掃や、日常的な道路維持管理について自治会が担う役割を考慮し、新たな項目として、道路維持管理に係る加算を行政事務委託料に追加するとともに自治会で実施が困難な市道の除草を市が実施

## 4 効率的な行財政運営で持続可能な市民サービスを実現

### 政策戦略会議の実施（令和5年度の取組）

政策戦略会議を通して、様々な行政需要や課題に対する部局間の連携を図り、政策の迅速かつ着実な遂行及び成果の創出に向けた全庁横断的な総合調整を行いました。

#### 令和5年度における主な検討事項

- ◇育都プロジェクトの推進について（総合戦略部、福祉部、育都推進部、教育部）
- ◇自治会の負担軽減について（総合戦略部、市民環境部）
- ◇新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う市の対応について  
（総合戦略部、総務部、情報防災部、育都推進部、教育部）
- ◇マイクロモビリティ実証実験について（総合戦略部、総務部）
- ◇GunMaasを活用した各種支援策等について  
（総合戦略部、情報防災部、市民環境部、福祉部、建設交通部）
- ◇本市の地域おこし協力隊の現状と課題について（総合戦略部、市民環境部、産業観光部）
- ◇農地付き空き家制度の実施について  
（総合戦略部、市民環境部、産業観光部、農業委員会事務局）

## 4 効率的な行財政運営で持続可能な市民サービスを実現

### 令和6年度予算における事業の見直し

事業レビューの実施や、予算編成過程における事業の見直しを通じて、事務の効率化等を図るとともに、約6,800万円の事業費を圧縮しました。

#### 主な見直し事項

##### ◇児童手当支給事業（延長支給分）

…令和6年度より、国が児童手当の対象を高校生世代まで拡充することから、その役割を終えたものとなりました。

##### ◇ワーケーション推進事業

…コロナ禍における新しい生活様式を推進するための取組であったが、新型コロナウイルス感染症の5類移行など、取り巻く状況が変化したため、その役割を終えたものとなりました。

##### ◇教育ICT活用促進プロジェクト

…教育の場にICTが浸透し、活用されてきていることから、ICT教育支援員を従来の3名体制から2名体制としました。

##### ◇施設の運営方法の見直し

…施設の利用状況等の実態を踏まえ、より効率的な施設運営とするため、開館時間や運営体制等  
の見直しを行いました（NPOボランティア支援センター、伊香保石段の湯、歴史資料館等）。

## 4 効率的な行財政運営で持続可能な市民サービスを実現

### 新たな歳入確保対策

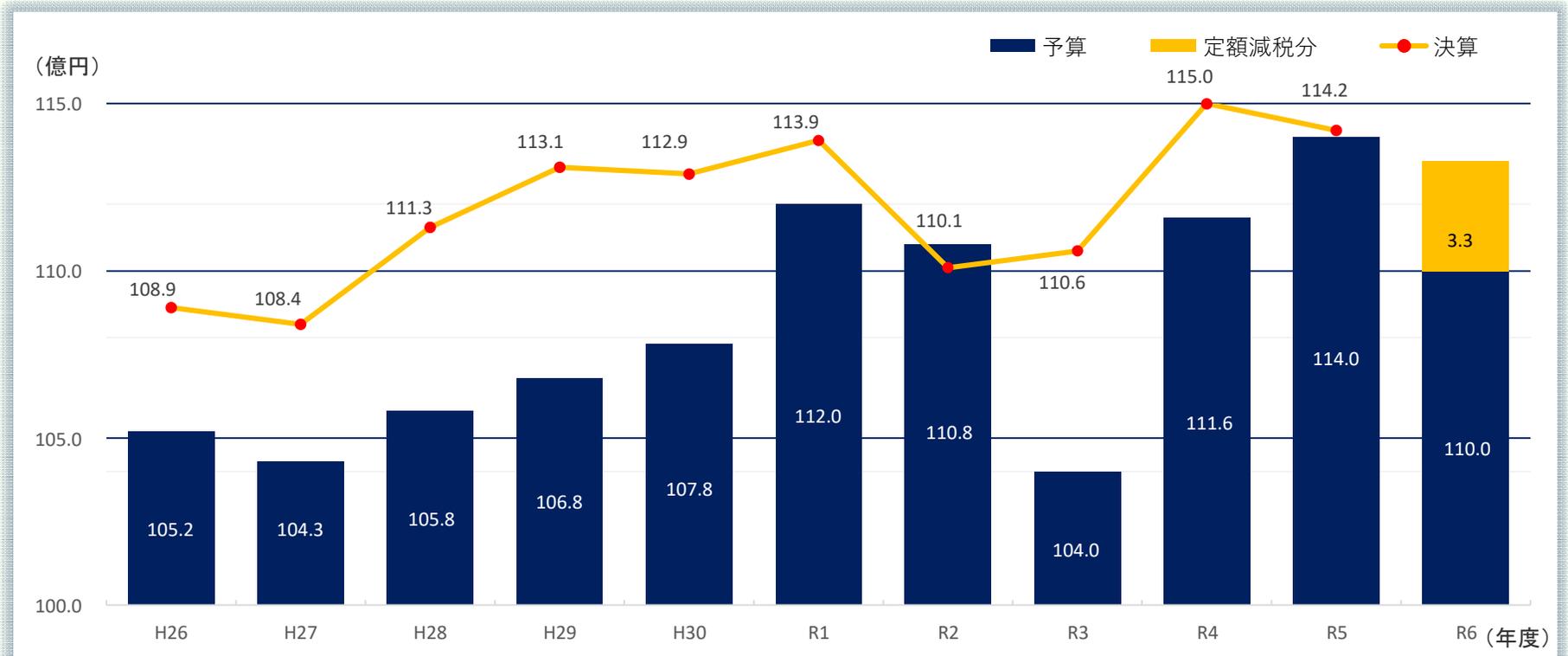
足下の厳しい財政状況に鑑み、自主財源を確保していく必要があることから、新たな歳入確保対策に取り組んでいきます。

#### 主な歳入確保対策

- ◇後年度の歳入確保につなげるため、不要となった市有施設（旧子育て支援センター）の解体を行います。
- ◇体験型の返礼品など、本市の魅力を生かした新たな返礼品を開発し、ふるさと納税者の増加を図ります。
- ◇子持社会体育館について、ネーミングライツの募集を行います。
- ◇渋川市美術館の運営にかかる費用について、寄附金を募ります。
- ◇受益者負担の観点から、施設利用料の見直しを行います。

# 市税の推移

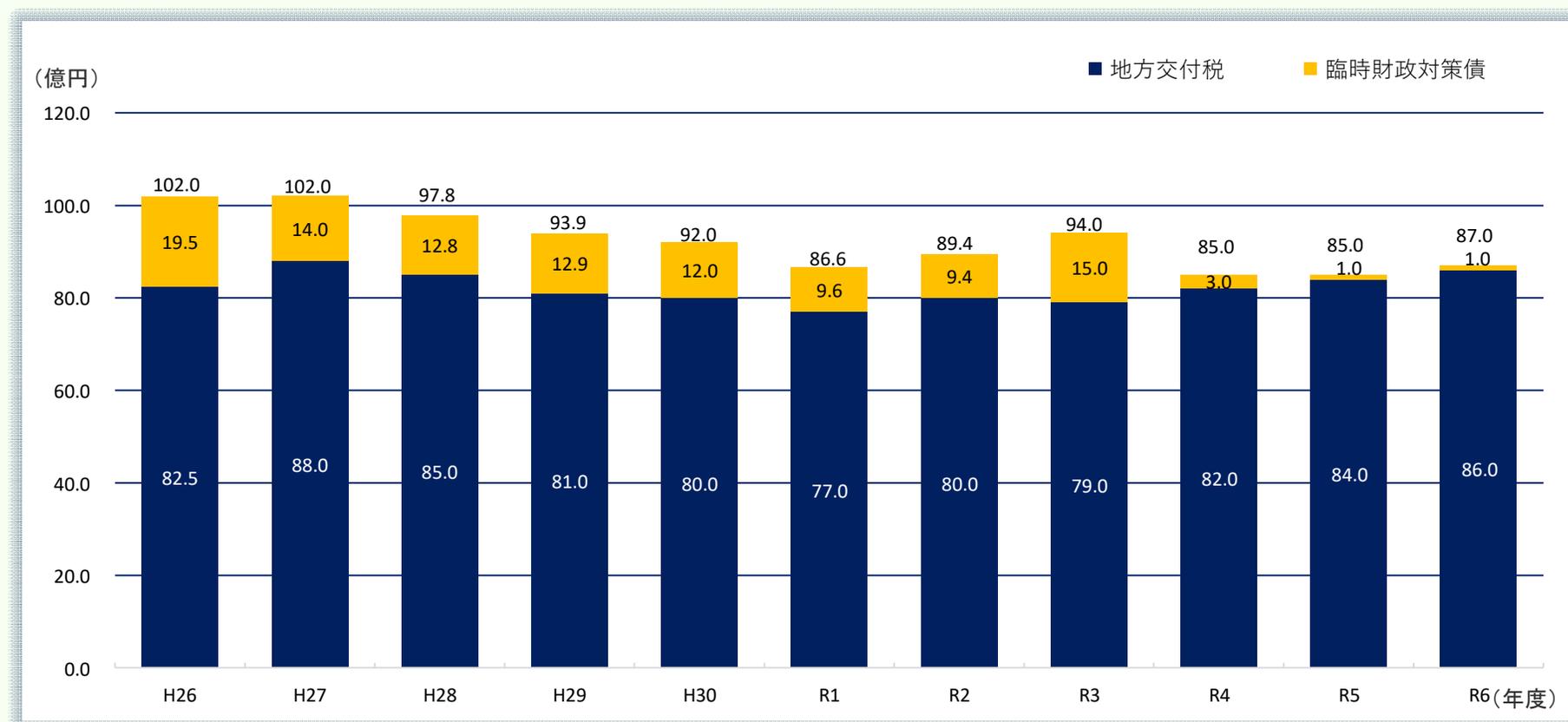
- ・ 国の総合経済対策による定額減税等の影響により、前年度から3.5%（4億円）の減少（合併後では9番目の市税収入）
- ・ 定額減税の影響を除くと前年度から0.6%（0.7億円）の減少（合併後5番目の市税収入）



※R5年度決算額は現時点での見込額

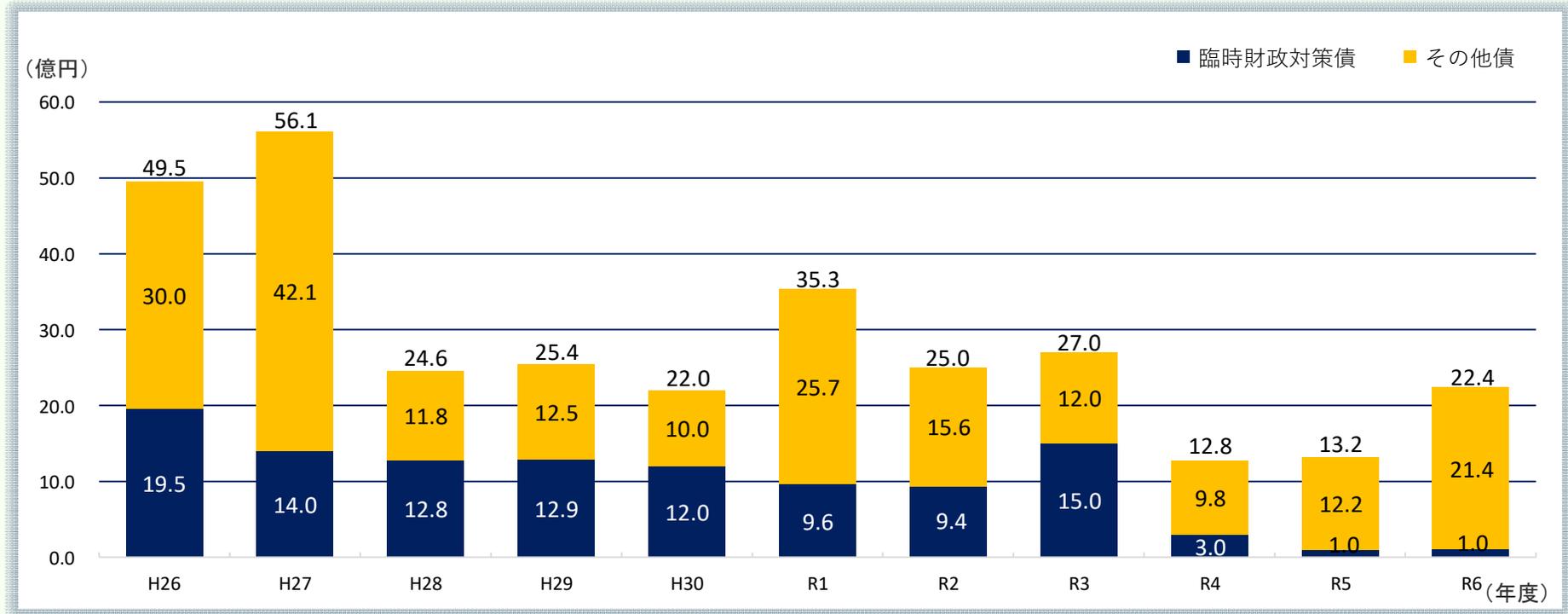
# 地方交付税予算額（当初予算）の推移

- 地方交付税と臨時財政対策債を合わせた実質的な交付税は前年度と同水準を見込む（地方交付税+2億円、臨時財政対策債 前年度同額）



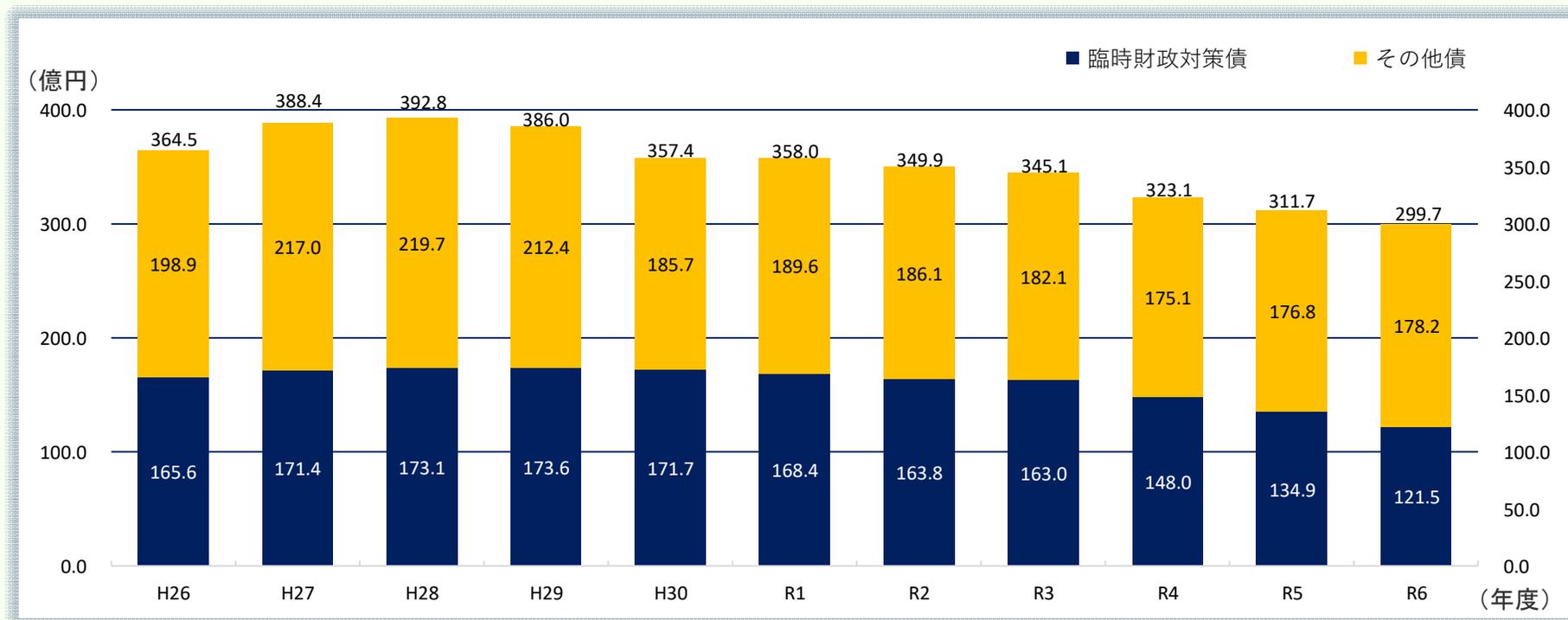
## 市債予算額（当初予算）の推移

- ・ 大型事業の実施により市債額が増加
- ・ 市債発行額は臨時財政対策債の縮減により、合併後、4番目に少ない額



# 市債残高の推移

- ・ 借入と償還のバランスに配慮した財政運営により、市債残高は減少

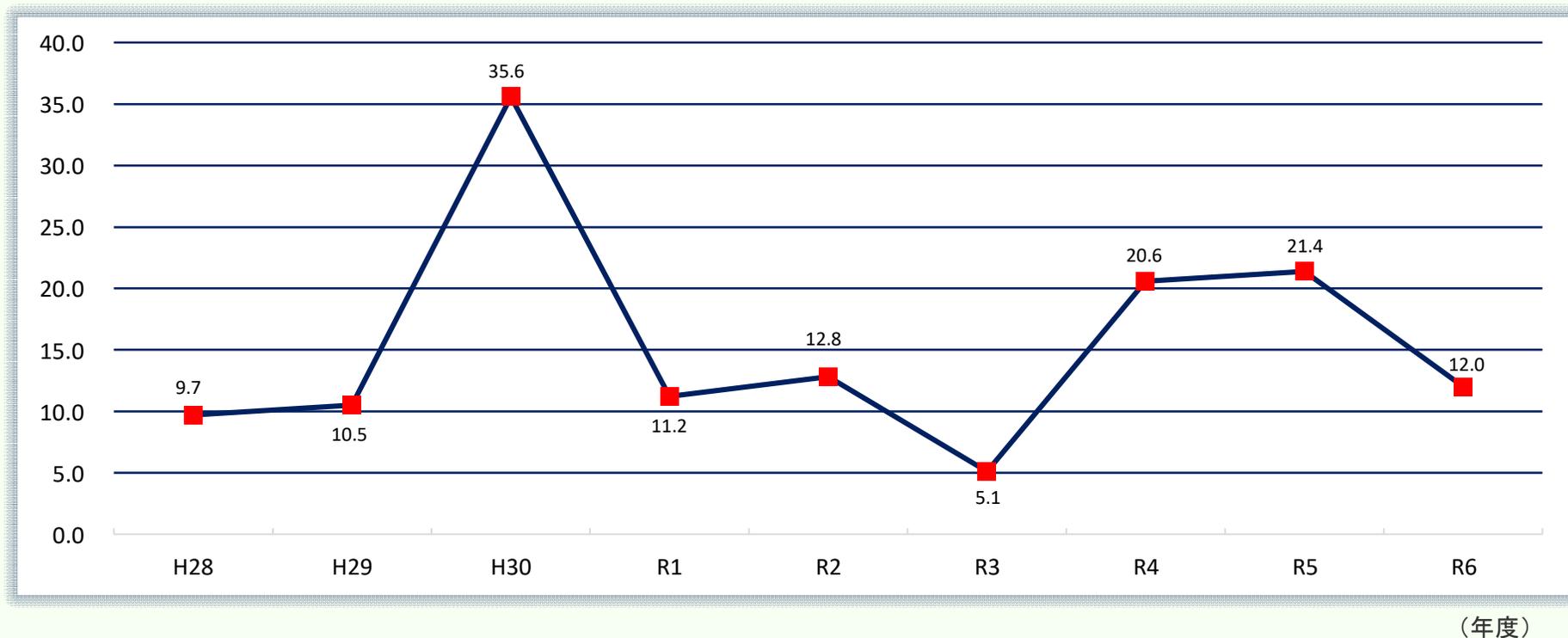


※R4年度までは年度末残高、R5年度及びR6年度は年度末残高見込

## プライマリーバランス（当初予算）の推移

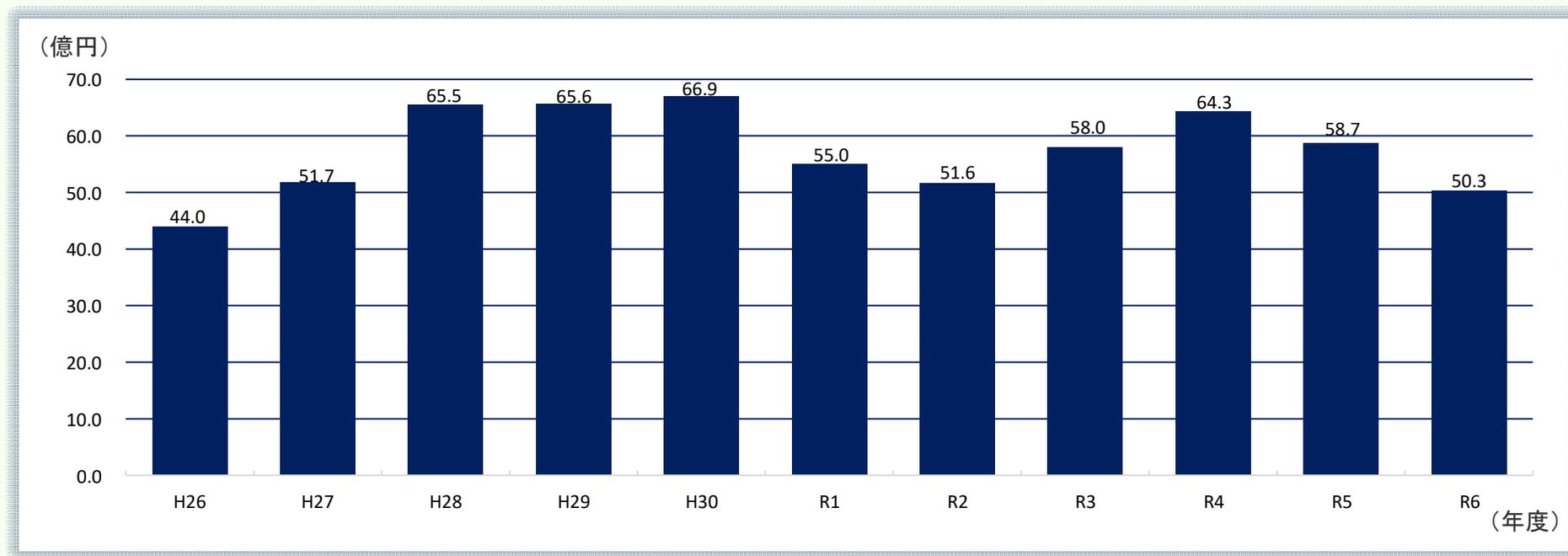
- ・ 市債発行額の抑制により、プライマリーバランスは12億円の黒字を確保

(億円)



## 財政調整基金残高の状況

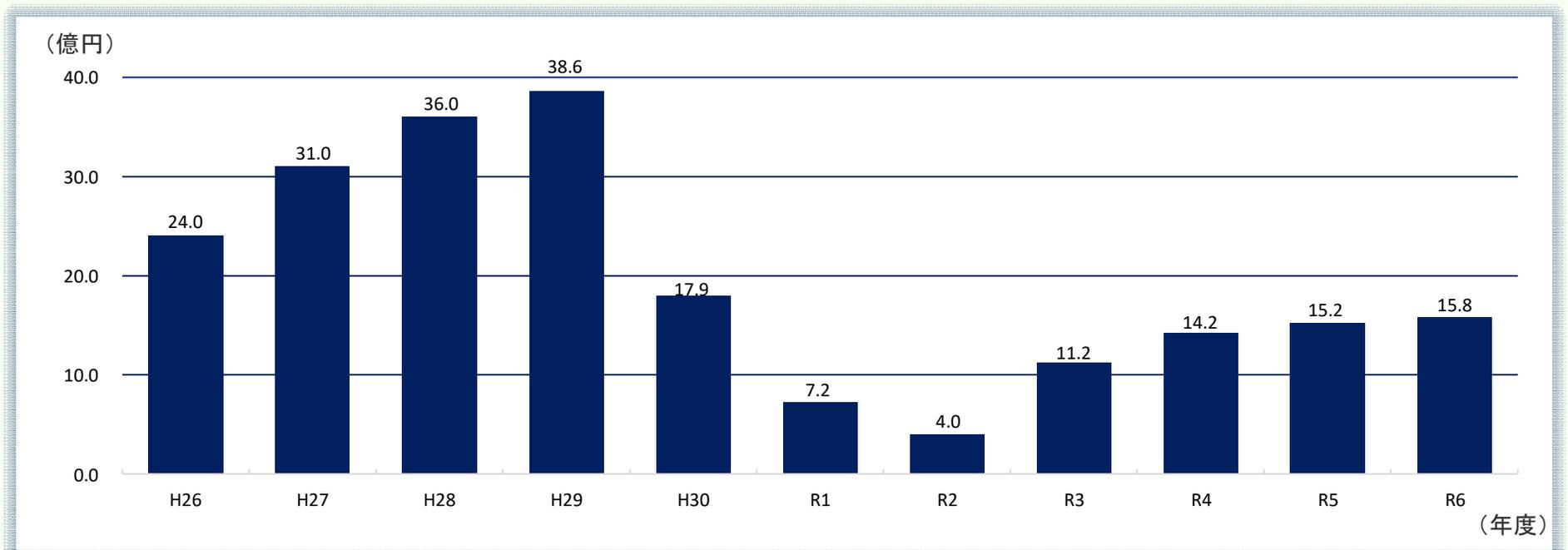
- ・ 歳入一般財源の不足を補う財源対策として、財政調整基金を取崩し対応
- ・ 災害などの予期せぬ事態に対応するため、一定額を確保



※R4年度までは年度末残高、R5年度及びR6年度は年度末残高見込

## 減債基金残高の状況

- ・ 将来的な公債費の増加に備えるため、一定額を確保
- ※高利率の市債について、H30～R2に減債基金を活用して繰上償還を実施



※R4年度までは年度末残高、R5年度及びR6年度は年度末残高見込

# 令和6年度組織改正

## 1 総合戦略部の体制を強化

●人を呼び込むまちづくりを推進する体制を強化

広報室 広報広聴係  
シティブランド発信係 を設置

●共生社会実現と男女共同参画を全市を挙げて推進する体制を強化

政策戦略課 未来戦略係 を設置

## 2 産業政策の推進体制を強化

●商業・工業・農業・観光業とが連携した総合的な産業施策を展開する体制を構築

産業政策課 商工・産業振興係 を設置

## 3 国民スポーツ大会準備室を新設

●第79回国民スポーツ大会冬季大会の会場となるため大会準備室を設置

国民スポーツ大会準備室 競技運営係  
を設置